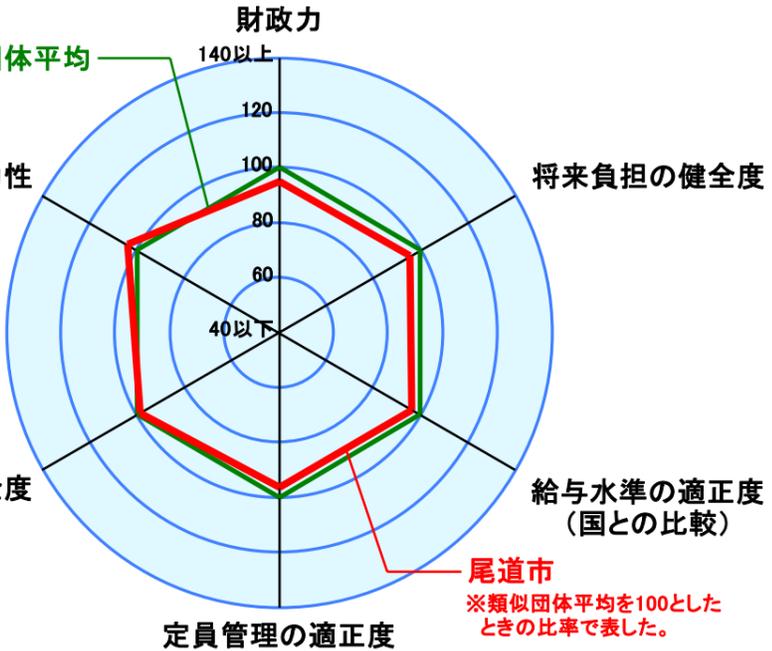


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

広島県 尾道市

人口	116,818人(H17.3.31現在)
面積	212.33 km ²
歳入総額	47,163,632千円
歳出総額	45,919,390千円
実質収支	693,849千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】
 ・平成14年度は0.57、平成15年度は0.58となっていた。平成16年度には御調町・向島町と合併した結果0.53と低下した。元来、税収が少ない脆弱な財政基盤に加え、財政力指数の低い両町の影響を反映したものとなった。

【経常収支比率】
 ・過去10年間は退職者の一部不補充を中心とした人件費の削減に取り組んできた。平成14年度は83.7%で広島県下の都市で最も低い数値となっていた。平成15年度は82.4%となっており、平成16年度は87.9%となった。平成16年度に急増したのは合併した団体が、経常収支比率が高かったのが主な要因となっている。

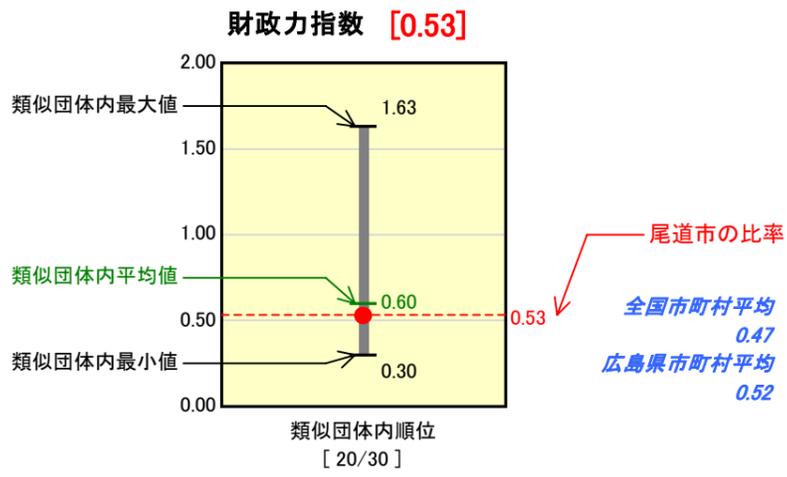
【起債制限比率】
 ・平成13年度に454百万円、平成14年に633百万円、平成15年度に782百万円と繰上償還を連続して実施した。その結果、平成14年度は12.6、平成15年度は12.3、平成16年度は11.0となった。平成16年度に大幅に指数が減少したのは、合併した団体の指数が低かったことが原因となっている。

【人口1人あたり地方債現在高】
 ・過去10年間に尾道駅前再開発事業、廃棄物最終処分場建設、尾道大学の美術学科棟整備等の大規模事業を続けて実施したため地方債残高は類似団体の水準を超えている。

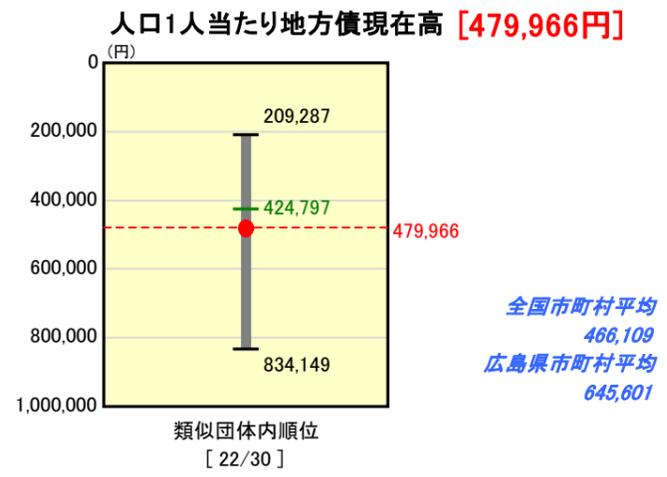
【ラスパイレス指数】
 ・平成14年度100.7、平成15年度101.2、平成16年度98.4となっている。平成12年度に策定した行革大綱に基づき人件費の抑制を図ってきたが、平成16年度については国の調査基準の変更により相対的に低下した。

【人口1,000人あたり職員数】
 ・尾道市では、保育所、幼稚園、高等学校、4年制大学を運営しており、他都市にない事業に職員を配置するため人口1,000人当たりの職員数が類似団体と比較して多くなっている。

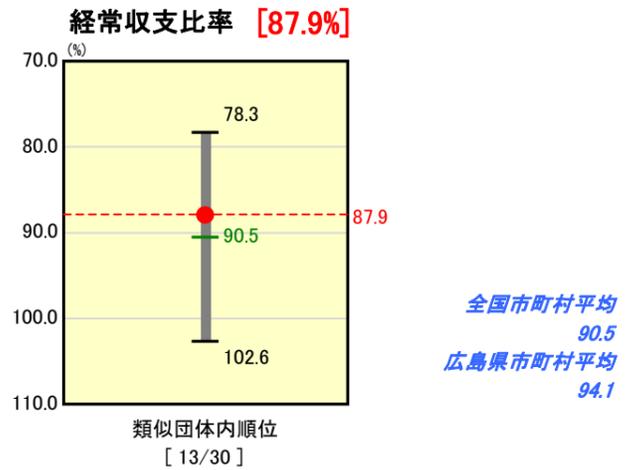
財政力



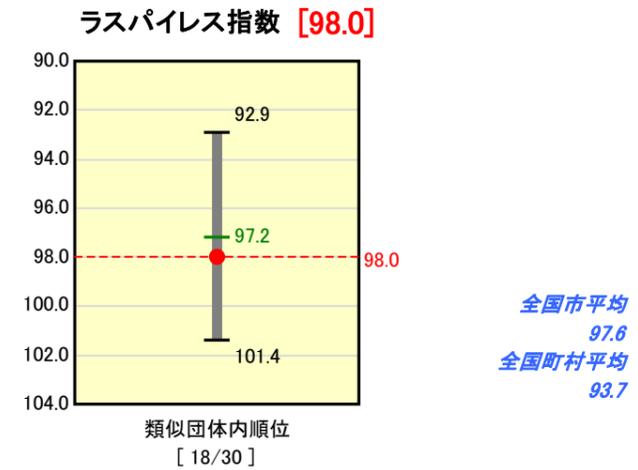
将来負担の健全度



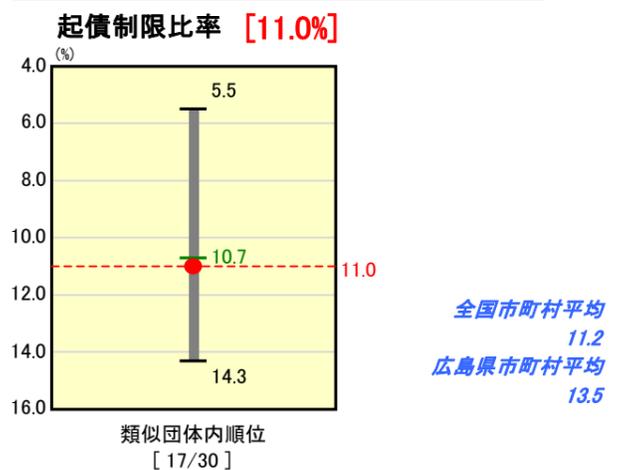
財政構造の弾力性



給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度

